

全国ロボット・地域連携ネットワーク (RINGプロジェクト) 企業会員説明会

2026年1月15日・21日

RINGプロジェクト設立の背景(2/6)

ロボット導入の好事例

プレス加工工程のロボット化による生産性向上・採用力の向上 (株式会社有川製作所(石川県金沢市))

【ロボット導入の経緯】

- 深刻な人出不足によりプレス工程の作業員を確保することができず、フル稼働できない状況が続いていた。
- また、工場見学に来た学生から「まだ手で作っているのか」という問いかけもあった。
- そこで、人出不足を解消し、学生からも選ばれる職場を作ることを中心に、ロボット化を決意。

【ロボット導入の成果】

- 80tの単発プレス機1台に対して、協働ロボットを2台設置し、ワークをプレス機にセットする作業を自動化。
- 結果、ロボット導入によりプレス工程の生産力が9%増強され、手作業では避けられなかった「作業のムラ」も防止されることにより、生産性の向上と品質の安定化を実現。
- また、ロボット導入前の2年間は採用がゼロだったのに対して、**ロボット導入後の3年間で文系の学生を含む計7人の採用に成功**。工場見学でロボットを見て、新しい取り組みに魅力を感じ、そのまま入社した社員もいた。



協働用ロボットによる生産



+



ロボット化により人員が確保できたため**新たに金型設計・製造事業を開始**



有川製作所イメージキャラクター

RINGプロジェクト設立の背景(3/6)

ロボット導入の期待効果

- 企業におけるロボット導入の推進は、労働生産性の向上をはじめ企業の経営・事業全体に大きな効果をもたらし、人手不足という深刻な社会課題に対し、その解決の切り札となり得る。

生産性の向上

ロボットによる自動化で、人の業務の高付加価値化や、企業全体の生産性の向上へ



労働環境の改善

重労働や危険な作業等をロボットの作業へ代替し、労働環境改善へ



品質の安定化

手作業では避けられない「作業のムラ」「ポカミス」を防止し、製品の品質の安定化へ



人材確保の促進

現場の先進性を訴求することができ、優秀な人材の確保へ

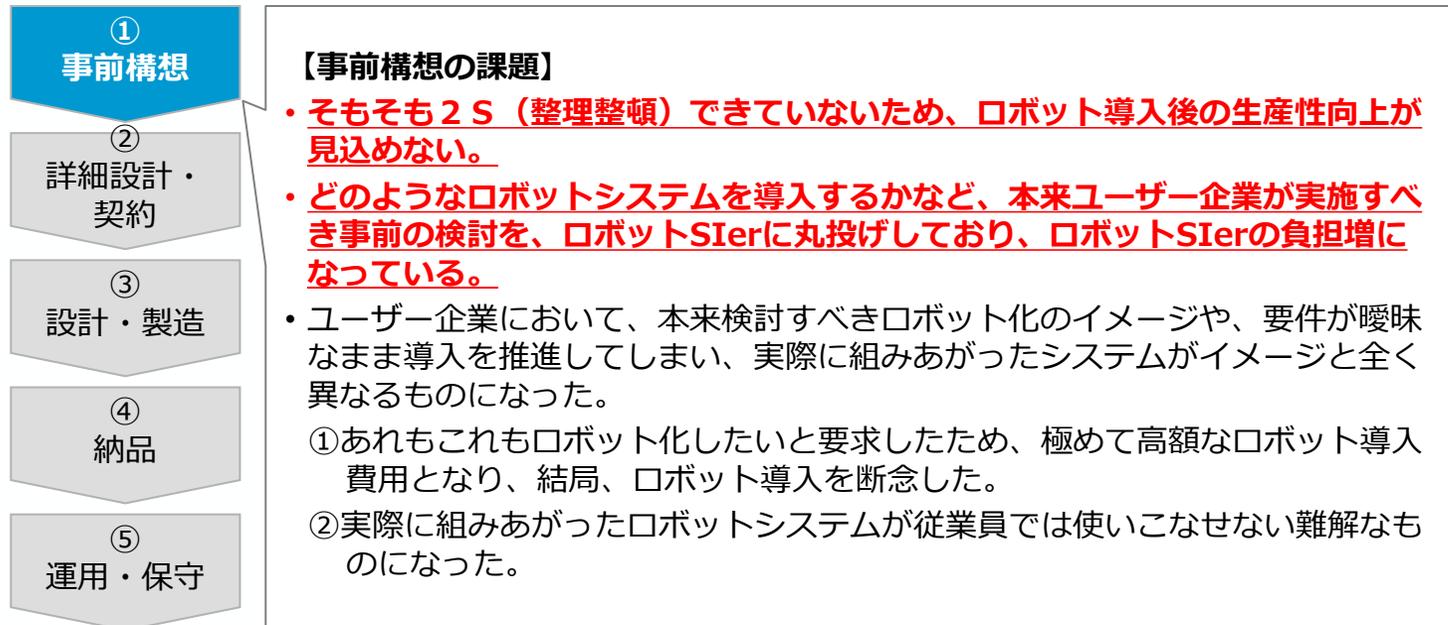


RINGプロジェクト設立の背景(4/6)

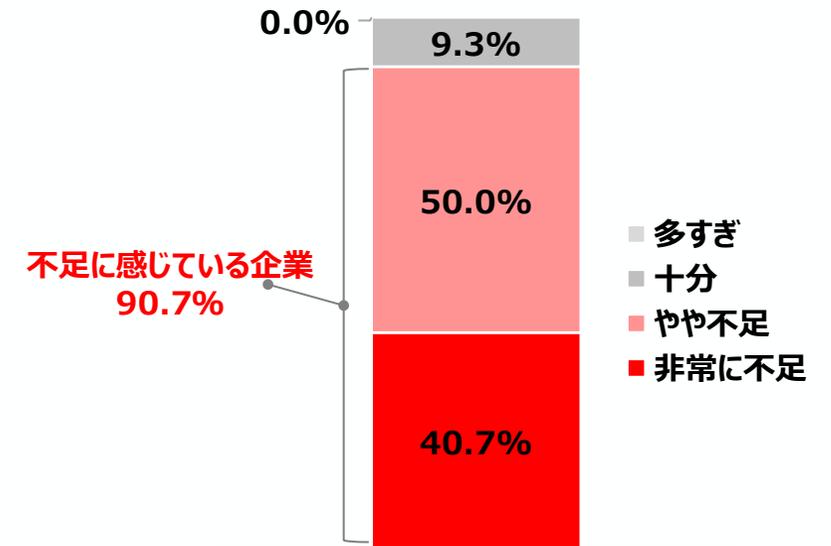
中小企業におけるロボット導入の課題

- ロボット導入では、事前構想段階が極めて重要であるが、特にロボット導入の経験がない中小企業等の場合、この工程で様々な課題が生じている。
- 現状、ロボットSIerがこの工程も含め、企業のロボット化に対応しているが、ロボットSIer自身も深刻な人手不足。今後、ロボット導入を一層推進するためには、事前構想段階から、ユーザー企業に対して丁寧に伴走支援ができる体制の整備していくことが重要。（※）中長期的にロボットSIerの人材を増やす人材育成施策は別途推進。

ロボットシステム導入の基本フロー



ロボットSIerのロボットシステムエンジニアの人材充足状況



出典先：2023年度 FA・ロボットシステムインテグレータ協会 定点観測アンケート結果（速報）

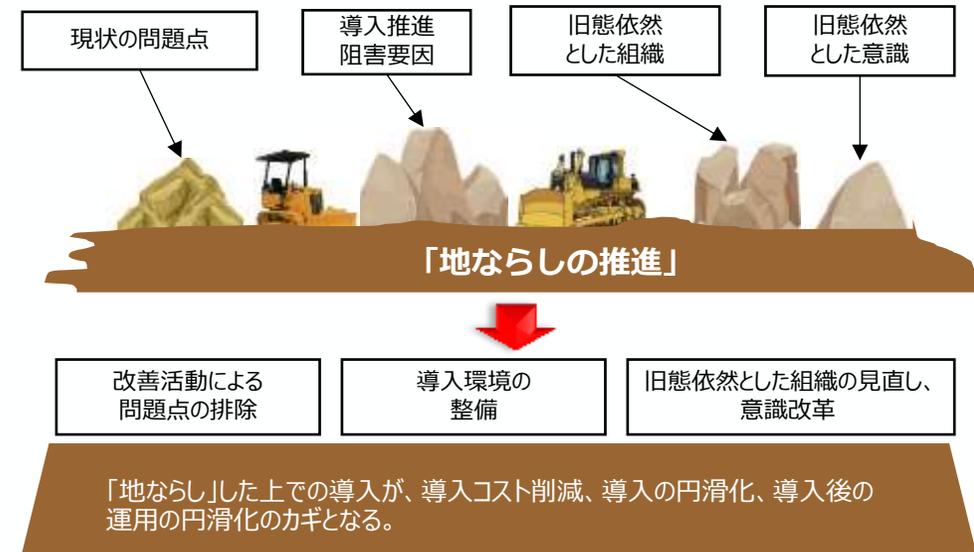
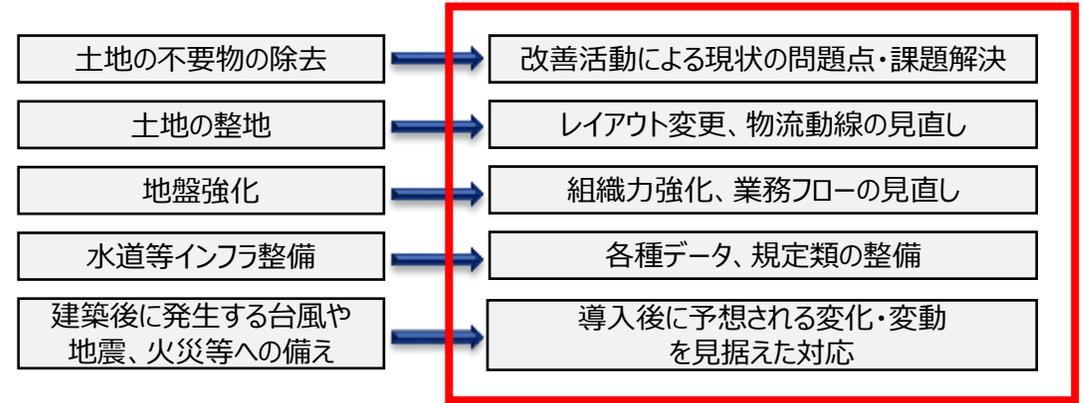
(参考) ロボット導入前の地ならしの必要性

地ならし作業とは

- 「地ならし」は、ロボット導入にあたり、導入時の効果の最大化をはかるとともに、ロボットの安定稼働、長期運用をはかることをねらいとして行うもの。
- 家を建てる場合、不要な石や樹木の排除、土地の整地、地盤強化等をはかると同様、ロボット導入時に現状の問題点の排除、導入環境の整備、現状フローの見直し、各種データ整備等が不可欠。

地ならしのイメージ

- 「地ならし」のイメージは右図のとおり。
- 「地ならし」はユーザー企業自身が主体的に取り組むべきものであり、各企業でこの作業ができるよう体制構築を行う必要がある。



RINGプロジェクト設立の背景(5/6)

各地域における先進的な支援

- 先進的な地域においては、ロボット導入支援拠点を設けて、専門家がユーザ企業を丁寧に伴走支援をしながら、地域のロボット導入を推進している。

先進地域におけるロボット導入支援拠点

IATC・IATC-Lab. (大阪府大阪市)

- ロボット導入支援、最新情報の提供、人材育成など生産現場の課題を解決するための取組を行う拠点。



岐阜県ロボットSIセンター (岐阜県各務原市)

- ロボットデモンストレーション・展示による技術PR機能やロボットSier育成機能を提供する拠点。



さがみはらロボット導入支援センター (神奈川県相模原市)

- 中小企業のロボット活用による生産性向上とロボット関連企業の創出・育成による地域産業振興を行うための拠点。



北九州市ロボット・DX推進センター (福岡県北九州市)

- ロボット導入やDX推進をワンストップで支援するための拠点。
- 「導入支援」、「操作体験」、「人材育成」等の取組みを通して、ロボット導入やDX推進に意欲のある地域企業を総合的・一元的に伴走支援。



浜松地域イノベーション推進機構 (静岡県浜松市)

- 静岡県西部地域における産学官による産業支援の中核的役割を担うための拠点。
- 「光・電子技術を活用する地域ビジョン」の推進機関。
- 「浜松産業イノベーション構想」の推進機関。



RINGプロジェクト設立の背景(6/6)

設立の主旨

- 各地域のロボット導入支援の取組を加速させるために、国、各地域の自治体や支援機関、ロボット関係団体などが連携して、「全国ロボット・地域連携ネットワーク（RINGプロジェクト）」を設立。
- RINGプロジェクトを通じて、地域のロボット導入支援の取組をオールジャパンで推進する仕組みを整備し、全国各地でロボットの利活用を推進することで、人手不足下でも持続可能な地域社会の実現を目指す。

RINGプロジェクトの概要

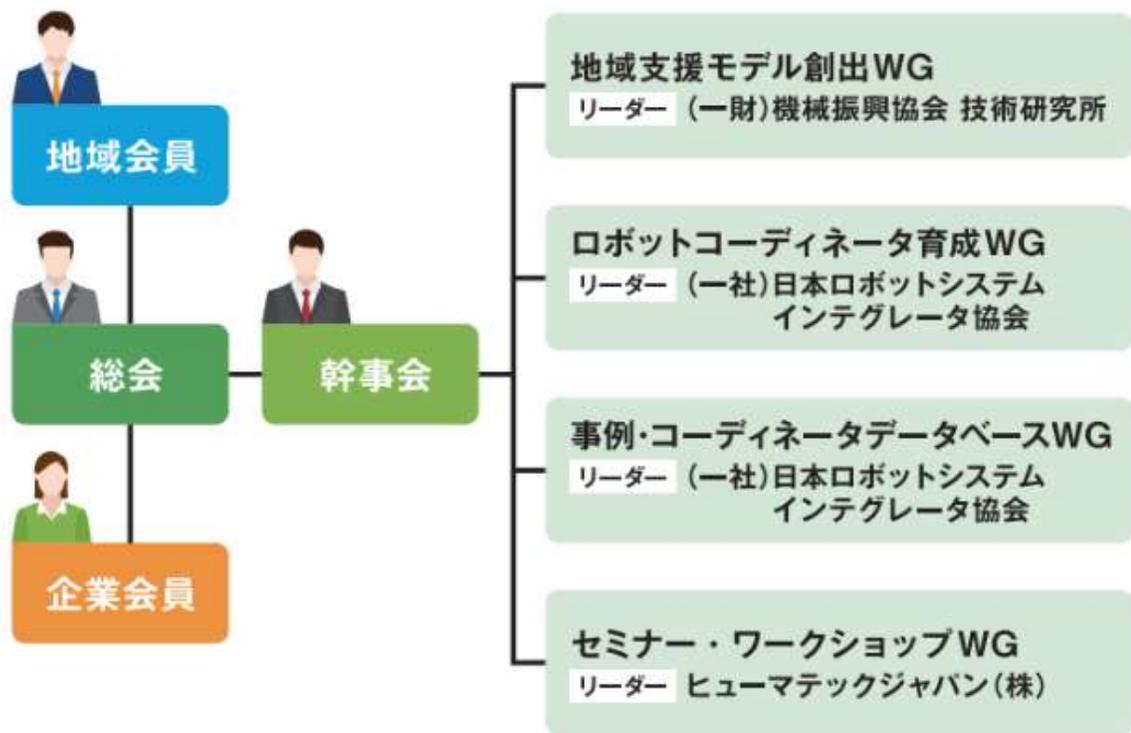


オールジャパンで各地域の取組を推進し、持続可能な地域社会の実現へ

【RINGプロジェクトによる支援の取組】

- ✓ 各地域の自治体・支援機関、企業、大学・教育機関、国、関係団体などが一体となり、各地域のロボット導入支援の取組のサポート
- ✓ 全国の支援ノウハウの共有
- ✓ 中小企業で活用可能なロボットソリューションの研究開発の推進 etc.

RINGプロジェクトの推進体制



主査



東洋大学 理工学部 機械工学科
教授
松元 明弘 氏

幹事



監査役



政府機関



事務局



RINGプロジェクトの取組内容

- RINGプロジェクトでは、主に6つの取組を実施する。

①	地域課題解決のサポート
②	ロボット導入の専門人材の育成
③	地域ニーズと企業シーズのマッチング支援
④	地域・業種を超えたネットワークの構築
⑤	ロボット導入の機運醸成の促進
⑥	ロボットソリューションの研究開発支援

RINGプロジェクトの取組内容

①

地域課題解決のサポート

開催イメージ



写真提供：(一財)機械振興協会

実施事項

①
取組概要

- 各地域の課題解決をサポートするため、有識者を交えた検討体制を整備して、課題解決に向けた方向付けを支援
- 全国の専門人材をリストアップし、各地域で解決が難しい案件に対応できる人材の紹介を実施

②
これまでの
取組/
今後の取組

- 10月・12月に3回コーディネータ会議を開催し、相談地域が抱える課題を先進地域の有識者や他地域のコーディネータも交えて、その解決の方向付けを検討
⇒第4回のコーディネータ会議を2月に開催し、継続的に相談地域の課題解決をサポート
- 今年度の専門家派遣のうち、好事例の中から共通項を抽出して、支援モデルの型を構築する
- 全国の160人以上の専門家をリスト化し、専門家派遣に向けた人材プールを構築
⇒順次専門家プールを拡充し、対応可能なケイパビリティを拡充中
- 各地域拠点一事務局とコミュニケーションを実施し、ロボット導入等を検討する地域企業を抽出
⇒専門家派遣を開始中。各拠点からの支援依頼を継続して募集中
- 各地域の支援体制の実態把握のためのアンケート・ヒアリング調査を実施
⇒今後、全国の支援拠点の底上げにつながる戦略を立案する

RINGプロジェクトの取組内容

②

ロボット導入の専門人材の育成

開催イメージ



実施事項

①
取組概要

- 各地域のロボット導入を丁寧に伴走支援ができる専門人材を充実させるため、自動化コーディネータを育成
- 必要スキルを整理し、研修やオンライン学習コンテンツを提供。また、将来的な認定制度の検討も推進

②
これまでの
取組/
今後の取組

- 有識者に対するヒアリングを実施し、コーディネータに求められるスキルを体系的に整理
- 1月末に経済産業省の研修施設で、各地域拠点のコーディネータに対する研修開催を決定
⇒現在、研修コンテンツ、研修講師を検討中
 - ・ 研修方式：座学・講演、グループワーク
 - ・ 研修内容：
 - ロボット導入事例
 - コーディネーター向け経営知識
 - 生産技術
 - 自動機実習 等
- 研修コンテンツのE-learning化、オンライン配信に向けて検討中

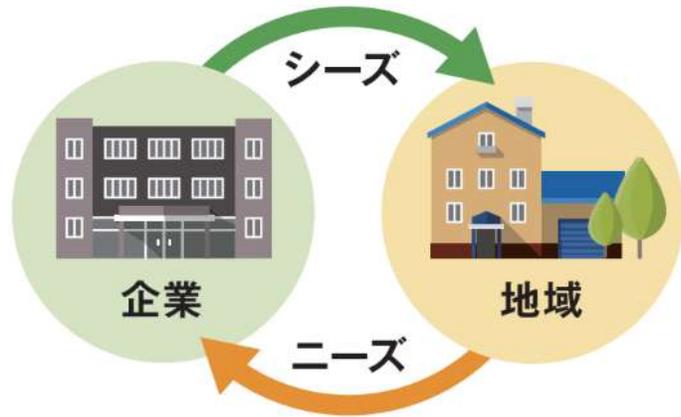
RINGプロジェクトの取組内容

③

地域ニーズと企業シーズのマッチング支援

開催イメージ

実施事項



①
取組概要

- 企業会員のソリューションをまとめたカタログの作成や、最新技術をPRできる場を設けて、地域が抱える課題やニーズと企業の持つソリューションや技術のマッチングを促進

②
これまでの
取組/
今後の取組

- 企業会員募集開始
⇒詳細は「企業会員の活動内容」で後述



サービス
紹介



最新情報



課題把握



ロボット
導入

RINGプロジェクトの取組内容

④

地域・業種を超えたネットワークの構築

開催イメージ



実施事項

① 取組概要

- 会員相互が情報交換できる場として、全体会合や各WGを開催し、地域・業種を超えたネットワークの構築を促進
- 事例データベースなどの情報共有ツールを整備し、全国で好事例や知見を共有できる仕組みを構築

② これまでの 取組/ 今後の取組

- 9月・12月に全会員を集めた全体会合を実施し、各WGの取組状況の共有、政府の最新動向の共有、会員相互の意見交換、懇親会等を実施
⇒3月10日に第3回の全体会合を開催し、継続的に地域を超えた連携体制の構築を促進する
- 全国の好事例を収集し事例集化を実施中
⇒今年度末に、ベストプラクティスとして全地域に対して共有する
- 機振協セミナーと連携し、先進地域のロボット導入支援の取組を紹介し、全国で好事例の共有ができるセミナーを開催
⇒今年度中に、4回セミナーを開催予定（相模原、岐阜、大阪、北九州）

RINGプロジェクトの取組内容

⑤

ロボット導入の機運醸成の促進

開催イメージ



写真提供：さがみはらロボット導入支援センター

実施事項

①
取組概要

- ロボット導入に踏み出せない企業を後押しするため、地域セミナーのサポートや、導入プロセスなどをまとめたオンラインコンテンツを提供
- 省力化投資補助金の活用を促進

②
これまでの
取組/
今後の取組

- 各地域拠点がセミナー企画・開催する際のサポートとして、企画雛形、集客方法、事後アンケートフォーム等、の作成を実施
⇒内容を精査し、各地域拠点に展開する想定
- 各地域拠点や企業会員等、ロボット導入を検討する企業向けの情報提供のあり方や、将来的に作成が望ましいE-learningコンテンツ一覧等といった具体策も検討中
- 省力化投資補助金の活用を促し、中小企業の省力化に資するロボット導入の資金的なサポートも実施

RINGプロジェクトの取組内容

⑥

ロボットソリューションの研究開発支援

開催イメージ



実施事項

①
取組概要

- 「NEDO懸賞金活用型プログラム」で、懸賞金型のコンテストを開催し、中小企業でも活用可能なロボットソリューションの開発を促進
- そこで出された優れたソリューションをRINGプロジェクトを通じて、広く全国に展開

②
これまでの取組/
今後の取組

- 地域の人手不足解消に資するロボットソリューションの開発に関するコンテストの実施に向けて制度検討中（テーマ設定、賞金額、スケジュール、対象者等）
⇒現在、製造業の検査工程をターゲットにしたパッケージ型のロボットソリューションの開発に向けたコンテストの競技設計等を検討中

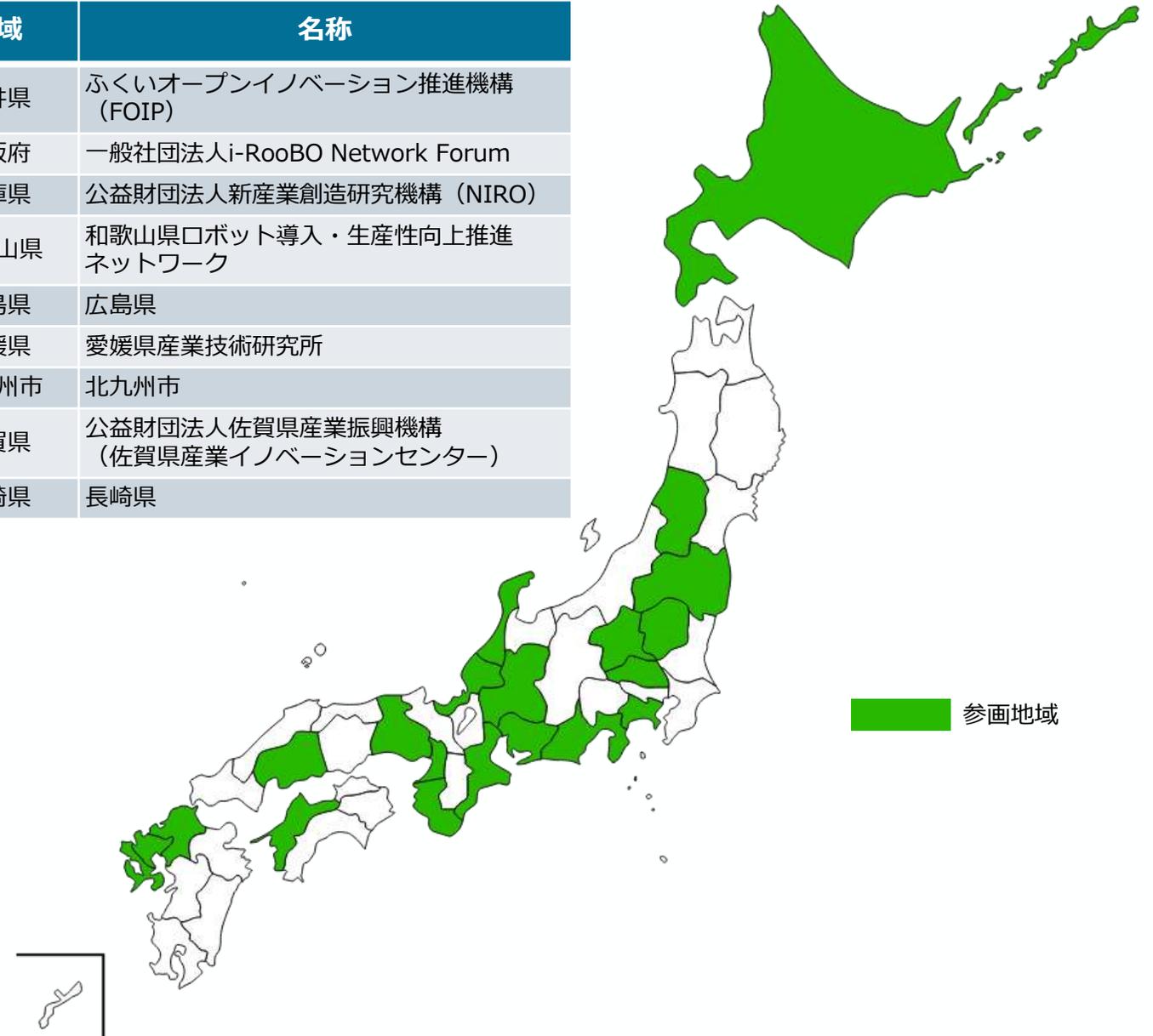
RINGプロジェクトの会員区分

- RINGプロジェクトの会員は、RINGプロジェクトの目的に賛同する自治体、支援機関、企業等であり、具体的には以下のとおり区分する。

正会員	準備会員	企業会員
<p>①会員資格</p> <ul style="list-style-type: none">• 地域のロボット導入その他の生産性向上の支援に取り組む自治体、支援機関等は、正会員になることができる。• 自治体、支援機関が、同一地域でロボット導入を推進する連合体（「地域プラットフォーム」）を構築している場合は、地域プラットフォーム単位で正会員となることができる。	<p>①会員資格</p> <ul style="list-style-type: none">• 地域のロボット導入その他の生産性向上の支援に取り組むための支援体制整備を行っている自治体、支援機関等は、準備会員になることができる。• 自治体、支援機関が、地域プラットフォームを構築している場合は、地域プラットフォーム単位で準備会員となることができる。	<p>①会員資格</p> <ul style="list-style-type: none">• RINGプロジェクトの目的に賛同する企業は、企業会員となることができる。 <p>新規募集開始 (本日説明会～)</p>
<p>②年会費（年額）</p> <ul style="list-style-type: none">• 10万円（地域プラットフォーム単位で10万円）	<p>②年会費（年額）</p> <ul style="list-style-type: none">• 10万円（地域プラットフォーム単位で10万円）	<p>②年会費（年額）</p> <ul style="list-style-type: none">• 大企業等30万円／中小企業15万円 ※2026年度より

RINGプロジェクトの参画地域一覧

No.	地域	名称	No.	地域	名称
1	北海道	北海道ロボット導入促進プラットフォーム (ノーステック財団)	21	福井県	ふくいオープンイノベーション推進機構 (FOIP)
2	室蘭市	室蘭市ロボット・IoT導入促進ネットワーク	22	大阪府	一般社団法人i-RooBO Network Forum
3	釧路・根室 地域	公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター	23	兵庫県	公益財団法人新産業創造研究機構 (NIRO)
4	山形県	やまがたロボット研究会	24	和歌山県	和歌山県ロボット導入・生産性向上推進 ネットワーク
5	福島県	福島県	25	広島県	広島県
6	いわき市	いわき商工会議所	26	愛媛県	愛媛県産業技術研究所
7	南相馬市	南相馬市産業効率化地域プラットフォーム	27	北九州市	北九州市
8	栃木県	栃木県	28	佐賀県	公益財団法人佐賀県産業振興機構 (佐賀県産業イノベーションセンター)
9	群馬県	ぐんまデジタルソリューション コンソーシアム	29	長崎県	長崎県
10	埼玉県	公益財団法人埼玉県産業振興公社			
11	神奈川県	神奈川県 (神奈川県地域プラットフォーム)			
12	相模原市	相模原市・さがみはらロボット導入支援センター・さがみはらロボットビジネス協議会			
13	静岡県	静岡県			
14	浜松市	浜松市・公益財団法人浜松地域 イノベーション推進機構			
15	愛知県	愛知県			
16	名古屋市	名古屋市ロボット導入支援プラットフォーム			
17	中部地域	一般社団法人中部産業連盟			
18	岐阜県	岐阜県ロボット活用推進ネットワーク			
19	三重県	三重県			
20	石川県	いしかわロボット導入支援ネットワーク			



企業会員募集の目的

- 今後、企業会員として「ロボットソリューション提供企業」や「生産性向上支援を行う企業」を募集する。
- RINGプロジェクトを通じて、地域が抱える課題と企業のソリューションを掛け合わせることで、**各地域の課題の解決と業界全体の発展**につなげる。



**地域が抱える課題 × 企業のソリューションで
「ロボット技術による地域課題の解決」と「業界全体の発展」を目指す**

企業会員制度の概要（案）

正会員

準備会員

企業会員

		企業会員	
		生産性向上支援を行う企業	ソリューションを提供する企業
対象		<ul style="list-style-type: none">自社の取引先（サプライヤー）や関連企業の生産性向上支援に取り組みたい企業（OEMメーカー、製造業コンサル、金融機関等）	<ul style="list-style-type: none">企業の生産性向上に資するソリューションを提供できる企業（メーカー、SIer、周辺機器メーカー、人材派遣会社等）
RINGでの活動内容		<p>次頁で実施イメージを記載</p> <ul style="list-style-type: none">①会員間のネットワーキングの構築②業界・政府の最新動向や好事例の提供③RINGプロジェクトの方向性の検討④研修やE-learningによる学習プログラムの活用⑤専門家の紹介等	<ul style="list-style-type: none">①会員間のネットワーキングの構築②業界・政府の最新動向や好事例の提供③RINGプロジェクトの方向性の検討④研修やE-learningによる学習プログラムの活用⑥各地域・ユーザー企業のニーズや課題の提供⑦ソリューションカタログの作成⑧自社のソリューションの情報共有等
年会費		<ul style="list-style-type: none">大企業等30万、中小企業15万 ※2026年度より	

企業会員の活動内容（案）_1/4

正会員

準備会員

企業会員

実施概要（案）

開催イメージ

① 会員間のネット ワーキングの 構築

- 全会員が集まる全体会合を定期的で開催し、各WGの取組状況の共有、政府の最新動向の共有、会員相互の意見交換、懇親会等を実施。地域・業種を超えたネットワーキングの構築を促進
- 共通の課題や目標を持つ会員同士が集まり、課題や目標に向けて取り組むワーキンググループ（WG）の組成を促進し、自社単独では対応が難しい課題等に対して、協働できる環境を整備していくことを想定



② 業界・政府の 最新動向や 好事例の提供

- 事務局が全国の支援拠点（地域会員）等から収集・整理したロボット導入をはじめとした生産性向上支援の好事例、技術トレンド・最新技術の紹介、政策動向等の情報提供を実施
- 企業会員も参加可能な、RINGプロジェクトの参画メンバーが集う全体会合や、ポータルサイト等で公開を予定



(※) 「開催イメージ」の画像はイメージ

企業会員の活動内容（案）_2/4

正会員

準備会員

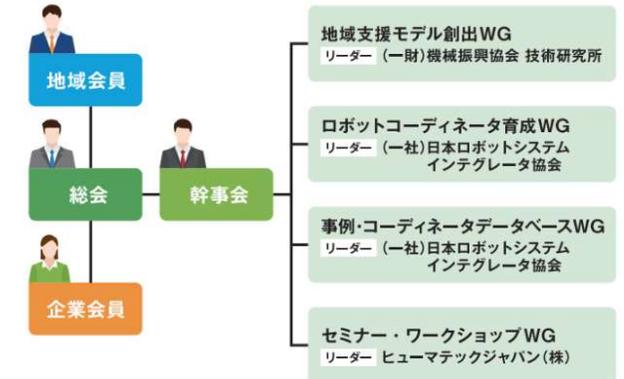
企業会員

実施概要（案）

開催イメージ

③ RINGプロジェクトの方向性の検討

- ▶ 企業会員は各種WGや（幹事メンバーは）幹事会に参画し、RINGプロジェクトの方向性や各種施策等に対してアイデアやご意見等いただくことで、より良い方向にプロジェクト運営を進めていくことを想定



④ 研修やE-learningによる学習プログラムの活用

- ▶ 今後、下記コーディネータ向け研修をベースに、研修内容のE-learning化、オンライン配信を検討中。今後、事前構想等のinputとなるコンテンツの作成も想定
 - 【コーディネータ向け研修】
 - ロボット導入における丁寧に伴走支援ができる専門人材を充実させるため、支援拠点（地域会員）のコーディネータ育成を目的とした下記研修を企画
 - 研修方式：座学・講演、グループワーク
 - 研修内容：ロボット導入事例
コーディネーター向け経営知識
生産技術
自動機実習 等



企業会員の活動内容（案）_3/4

正会員

準備会員

企業会員

実施概要（案）

開催イメージ

⑤ 専門家の紹介

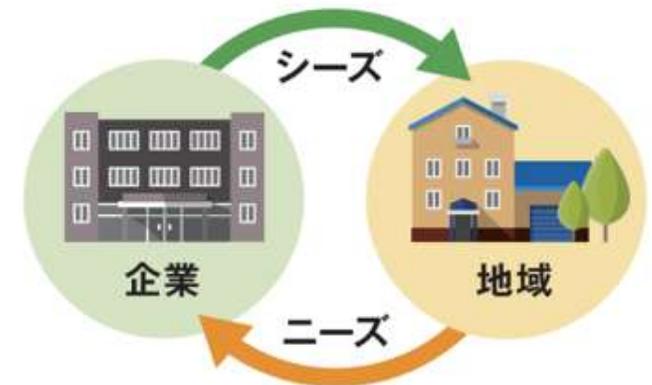
- 生産性向上支援（地ならし）を進めていきたい企業に対して、RINGプロジェクトの専門家の中から当該企業の課題に応じた最適な専門家を紹介
 - 実施イメージ①：大手自動車OEMが、系列Tier2以下のサプライヤーの生産性向上に取り組む際に適切な専門家を紹介
 - 実施イメージ②：地方銀行が、取引先の中小企業の生産性向上に課題感を感じ、設備投資や付随する融資を検討する際に、適切な専門家を紹介



写真提供：(一財)機械振興協会

⑥ 各地域・ ユーザー企業の ニーズや課題の 提供

- 事務局が全国の支援拠点（地域会員）等から収集・整理した各地域のユーザー企業の持つニーズや課題の情報提供を実施
- 企業会員も参加可能な、RINGプロジェクトの参画メンバーが集う全体会合や、ポータルサイト等で公開も想定
- 地域企業のニーズや課題を踏まえたうえで、その解決に資するソリューションの開発を促進していくための場（WG）を設置していく



企業会員の活動内容（案）_4/4

正会員

準備会員

企業会員

実施概要（案）

開催イメージ

⑦ ソリューション カタログの作成

- ソリューションカタログ（※）を作成し、ソリューション提供企業のサービスの詳細を紹介
※生産性向上に資するソリューションをカタログ化する
- 今後作成するポータルサイトでの掲載や、各種イベントにおける配布を想定



⑧ 自社 ソリューション の情報共有

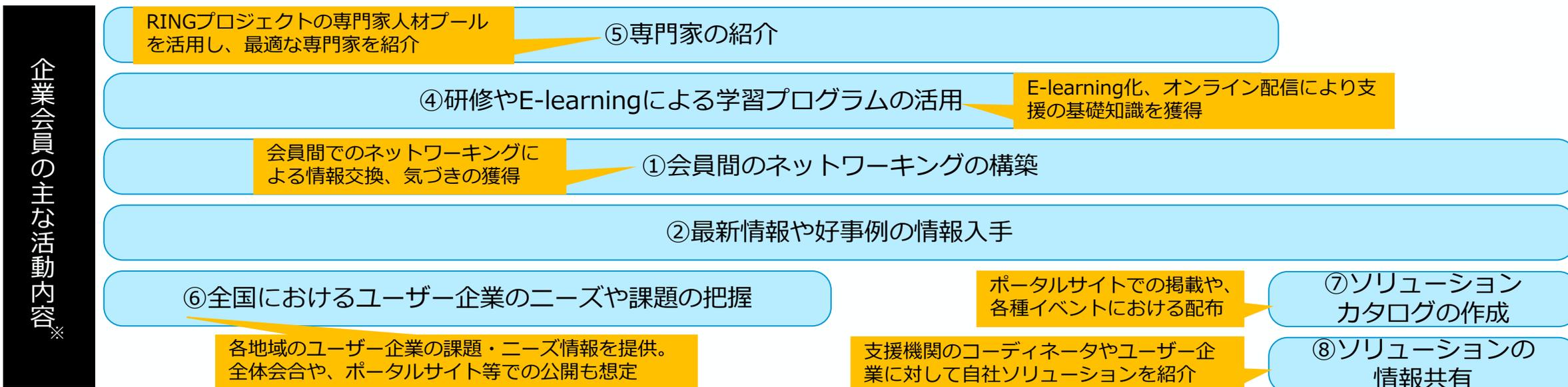
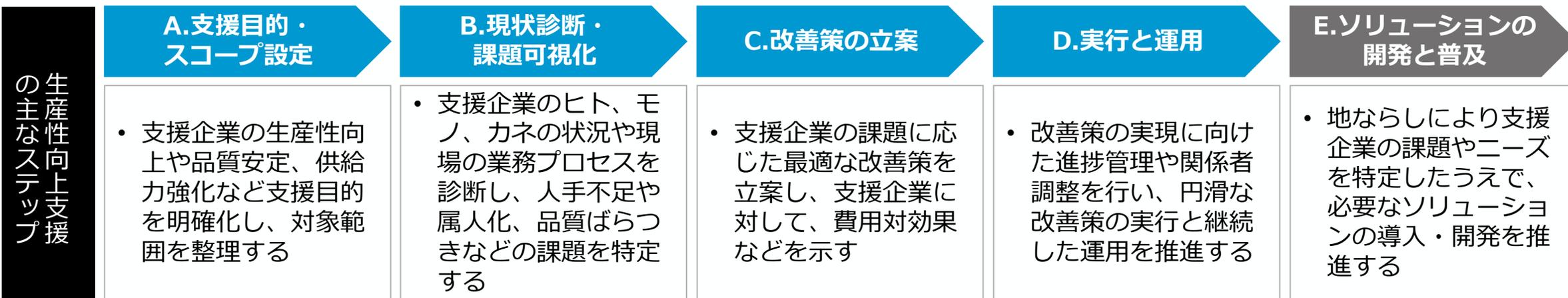
- 企業会員から、支援機関のコーディネータ（地域会員）やユーザー企業に対して自社ソリューションを紹介する機会を提供
 - 【開催イメージ】
 - 業種別や地域別の観点で、省力化・自動化等に関する固有の課題を整理した上で、テーマを設定
 - テーマ別に、オンライン上で支援拠点（地域会員）やユーザー企業に対して、企業会員が課題解決に向けた方策の説明や自社ソリューションの紹介を実施



（※）「開催イメージ」の画像はイメージ

生産性向上支援のステップと企業会員活動の活用イメージ

- 生産性向上支援の各ステップにおいてRING企業会員の活動内容を活用いただくことで、1社だけでは対応が難しかった地ならしの取組を全国のネットワークによりサポートすることが可能。



(参考) 「地ならし」の推進に向けた企業と連携の重要性

- ソリューション提供企業(※)**は、自社で中小製造業の生産性向上に資するソリューションを有しており、その観点から「**地ならし**」をサポートしている企業も存在。
※ソリューション提供企業としては、ロボットSIerに加えて、IoT・DXなどのソフト開発企業、技術商社、エンジニア派遣会社等を想定
- ソリューション提供企業には、より多くの中小製造業の「地ならし」を進めてもらいたいが、「**地ならし**」には、社員のモチベーション向上、生産技術的要素、資本政策など幅広い知見やノウハウが必要となることから、**コーディネータ(地域会員)と連携しながら、効率的・効果的な「地ならし」を推進するための手法を確立することが重要。**

生産性課題のありかと解決策

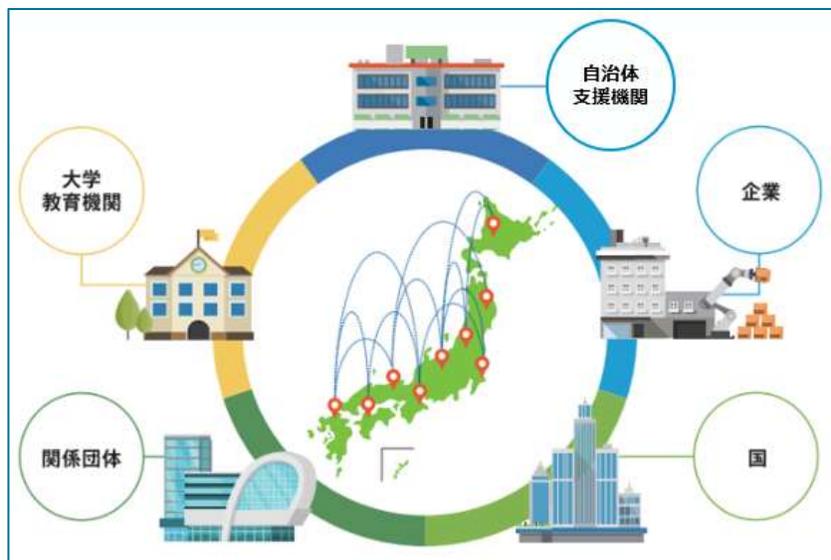
課題のありか	目的	方法・支援内容
⑤自動化・IoT	・画期的な省人化・省力化 ・工法・加工技術の開発改良 ・リアルタイム管理	・AI/ロボット/センサー/カメラなどメカトロ技術を活用 ・システムインテグレーション ・情報ネットワーク技術によりリアルタイム化とアクション
④スタッフ業務改革	・受発注・生産管理・設計開発 ・事務・技術・計画業務効率化 ・リードタイム短縮	・アナログな作業をデジタル化(DX) 一気通貫・一括処理 ・POS、RPA、クラウドなどITの活用 ・CAD/CAMなどデジタルエンジニアリング技術の活用
③プロセス改革	・コスト原単位に基づいた改革 ・工程短縮・共通化、在庫低減 ・レイアウト・物流・動線改革	・ヒト・モノ・情報の流れを把握&分析、減らす/止める/共通化 ・作業手順・工数・在庫量・仕掛かりタイミングを明らかにし ・シンプル・スリム・スピーディ・フレキシブルに
②改善職場づくり	・作業者の声をもとに自発的に 改善の進む職場文化・風土	・ムリ/ムダ/ムラ、やりにくい作業、守りにくいルール の改善 ・全員参加・現地現物・チームワーク・改善マインドの醸成
①作業環境の整備	・安全・安心・健康な作業環境 ・正常・異常がすぐわかる ・ムリ・ムダ・ムラを目立たせる	・5S(3S)必要な物は近く、分かるように、不要物は整理 ・災害・疾病リスクアセスメントで、より良い作業環境作り

(参考) RINGプロジェクトの今後の方向性

- 今後、RINGプロジェクトでは、**地域・業種に特化したロールモデルの創出を進めるとともに、専門家が有する地ならし支援のノウハウ等を「支援の型」として取りまとめ、全国に展開していく。**
- あわせて、地ならし支援後の生産性向上につなげる方策として、**使い勝手が良く、コストパフォーマンスに優れたロボットソリューションを提供していくも重要。**そこで、ロールモデル創出の取組の中で、**ロボットソリューションの見える化を図った上で、足りない機能については、ロボット開発プラットフォーム等の事業とも連動した、新たなソリューション開発につなげる。**

【導入制約の解消】 RINGプロジェクト

- 地域・業種に特化したロールモデルの創出
- 地ならし支援のノウハウ等を「支援の型」として取りまとめ
- 中小企業等で活用できるロボットソリューションの見える化



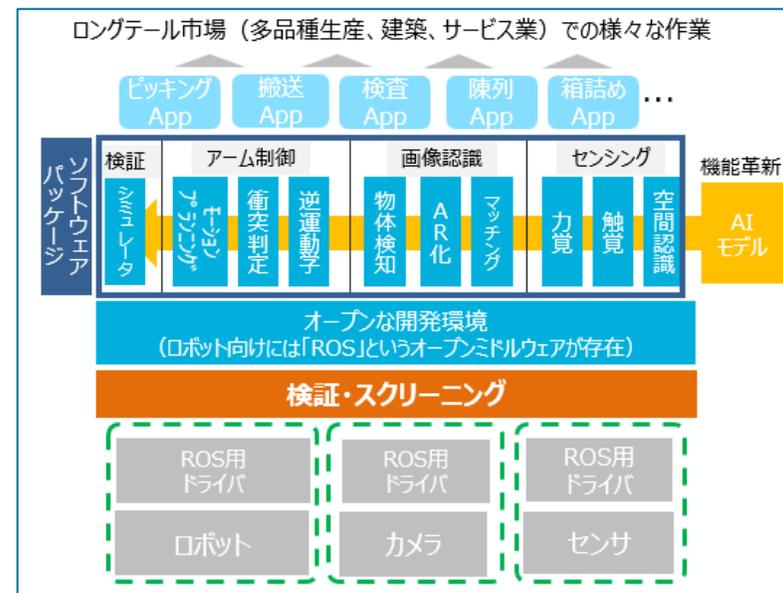
【開発制約の解消】 オープンな開発環境

- 生産性向上ソリューション（ロボット）の開発
- RINGにより明確された要件に合致するロボットの開発

ニーズや課題の
明確化



ロボット
ソリューションの
提供



今後のスケジュール（案）

2026年1月15日
1月21日

全国説明会（2回）

※希望する企業に対しては、別途個別説明を実施

2026年2月27日

企業会員申込期限

※その後も企業会員は随時募集

2026年3月10日

第3回全体会合

※企業会員として承認された企業はここから参加可能

2026年4月中

2026年度通常総会

※RINGの役員案、規約案、取組計画案、予算案等の審議・決定